

主催：（公財）日本体操協会

主管：群馬県体操協会 後援：高崎市・（公財）高崎財団・（一財）上月財団 予定

協賛：テーブルマーク・日本航空・三菱地所・明治・朝日生命・ミスノ・セイコーホールディングス・シミスオクト・セノー・東武トップツアーズ

1 期 日 2020年12月8日（火）～13日（日）

12月8日（火）会場設営 女子会場練習

12月9日（水）会場練習 女子監督会議

12月10日（木）会場練習 女子審判会議 男子監督会議 女子予選競技

12月11日（金）男子審判会議 男子予選競技

12月12日（土）女子決勝競技 ※テレビ放映 NHK BS 12:00～14:50 予定

12月13日（日）男子決勝競技 ※テレビ放映 NHK BS 12:00～13:05 総合 13:05～15:00 予定

2 会 場 高崎アリーナ

〒370-0846 群馬県高崎市下和田町4-1-18 TEL 027-329-5447(代表)

3 参加資格と条件 ※2020年度本協会への選手登録を済ませた者としてします。

個人総合男子

最大84名

① 年齢制限は、中学3年生以上とします。

② 別表1に該当する者としてします。

別表1

①	2020年4月の第74回全日本個人総合選手権権利獲得者72名に再割り当て	72名
②	第53回全日本体操競技シニア選手権大会・第74回全日本学生体操競技選手権大会において個人総合83点程度獲得した選手最大合計10名を推薦	最大10名
③	2020 全日本高等学校体操競技選抜 鯖江大会2名	2名

男子種目別予選

各種目6名

① 年齢制限は、中学3年生以上とします。

② 別表2に該当する者としてします。

別表2

①	ビデオ審査による各種目上位6名	
---	-----------------	--

申請基準は14,000相当以上の演技とします。

※ ビデオ審査については細部を別途案内します。

女子個人総合

84名

① 年齢制限は13歳以上（2020年12月31日までに達する者）

② 別表3に該当する者としてします。

別表3

①	2020年4月の第74回全日本個人総合選手権権利獲得者72名に再割り当て	72名
②	第53回全日本シニア体操競技選手権、第74回全日本個人総合トライアウト、第74回全日本学生体操競技選手権の得点を並べ上位12名※①を除く	12名

※ 第74回全日本体操個人総合選手権トライアウトについては細部を別途案内します。

※注意事項

(1) 18歳未満（大会時）の参加者は、「ドーピング・コントロールに関する同意書」を提出して下さい。

(2) 学生（大学生・高校生以下）の参加者は、出場資格を得た大会に関わらず、所属名を学校名またはクラブ名のどちらかを選択できます。その際、今年度の選手登録を済ませていなければなりません。

① 大学・高校等とクラブで協議のうえ、両所属の承諾を得ることとします。

- ② 登録時に双方の連盟に登録しておいて下さい。（本協会への登録窓口となっている、各都道府県体操協会登録窓口では、複数登録が可能となっています。）
- (3) (2)における所属の双方を表記することが可能です。また、学生以外の参加者は、所属・スポンサー契約等の条件のもとに本協会と参加者合議の上所属の表記を申告できます。
- ① プログラムに双方の所属を掲載します。
- ② 文字数に制限のある場合（競技帳票・得点表示板・場内放送や中継等における選手紹介・アナウンス・スポンサーによる肖像使用等）に、優先的に表記する所属を申告して下さい。
- ③ ②における制限に対し、/で区切り、合計12文字以内の略称を申告することが可能です。競技帳票・場内表示等に使用します。例：○○○○クラブ/□□高校
- ④ このほか制限が生じる場合、優先する表記を本協会と参加者合議の上決定します。

4 競技に関する注意事項

(1) 採点規則

男子は2017年版採点規則および体操競技情報最新号を適用します。

個人総合合計Dスコアに対して国内規定を設ける。2日間のうち、どちらか1日でもDスコアが下記に該当した場合は最終大会スコアに加点する。

35, 0以下	なし	35, 1~35.2	0, 1	35, 3~35, 4	0, 3	35, 5以上	0, 5
---------	----	------------	------	-------------	------	---------	------

女子は2017年版採点規則および体操競技情報最新号を適用します。

(2) 競技規則（2020年版F I G競技規則に準ずる）

1) 班編成について

〈男子・女子予選〉

- ・ 【男子】1組6名の14組、2班編成とします。
- ・ II班 2019年度ナショナル強化選手(種目別成績による選出者除く)及びジュニア推薦選手5名と、成績順から選出された最大42名までをシードし開始種目を抽選。
- ・ I班 II班に編成された選手以外の個人総合合計36名で開始種目を抽選。種目別(個人総合有資格者除く)は1組ゆかスタートとし、演技順を抽選。

※各班各組の開始種目は次の通りです。

- ・ 1組ゆか 2組あん馬 3組つり輪 4組跳馬 5組平行棒 6組鉄棒 7組休み

【女子】1組6名で3班編成とします。

- ・ III班 「2019年度ナショナル強化選手」と「予選会得点」を高い方から並べた合計24名で開始種目を抽選。
- ・ II班 「予選会得点」を高い方から並べた残りの選手合計30名で開始種目を抽選。
- ・ I班 「予選会得点」を高い方から並べた残りの選手合計10名と、残りの選手20名で開始種目を抽選。

※各班各組の開始種目は次の通りです。

- ・ 1組跳馬 2組段違い平行棒 3組平均台 4組ゆか

〈男・女決勝〉

- ① 決勝進出資格選手は、個人総合予選の成績順による、男子上位30名+個人通過選手を除く各種目上位8位以内、女子上位24名+個人通過者を除く各種目上位8位以内とします。
- ② 個人総合演技順は、各組とも最上位者が最終種目で最終演技者となります。
- ③ 男子種目別通過者を6組として編成します。演技順は種目別順位の低い選手から編成します。
- ④ 女子種目別通過者を1組として編成します。演技順は種目別順位の低い選手から編成します。
- ⑤ 個人総合のリザーブは「男子2名」、「女子2名」とし公式練習終了まで準備をお願いします。（種目別なし）
- 2) 棄権および選手変更の取扱について
- ① 棄権の場合は、別途様式にてコンペティションマネージャーまで提出をお願いします。
- ② 監督会議以前に棄権の申し出があった場合、演技順を監督会議で確認し、各組の中で演技順の調整を行う場合もあります。
- 3) 競技の進行について
- ① 男女ともに原則として1種目25分（女子決勝のみ28分）のローテーションで競技進行します。ご協力をお願いします。
- ② 決勝はNHKのテレビ生中継のために、演技者と演技者の間（得点表示）の時間を長くとするなどの進行に調整が入るので、ご協力をお願いします。

- ③ 女子「ゆか」の競技が行われていない競技中に会場内にBGMを流す予定です。
- 4) 器械器具について
 - ① 本大会はセノー社製（2019製品カタログ版）およびSPIETH社製を使用します。SPIETH社製を使用する器具は、男子跳馬・平行棒、女子跳馬・平均台および男女跳躍板となります。
 - ② 本大会では、演技台（ボディウム）は設置しません。
 - ③ 男女ともサブ会場を設営します。
- 5) 跳躍板について
 - ① 「跳馬」はハードタイプ（3-3-2）・ソフトタイプ（2-1-2）を使用します。
(注)バネの取り外しはできません
 - ② 「平行棒」、「段違い平行棒」、「平均台」については、ソフトタイプを使用します。
- 6) 女子ゆかの音楽について

伴奏曲はCDで、1枚につき1曲のみとし、通常の再生機器で再生できるものを大会用として準備下さい。
※データでの提出を検討中です。業者との調整を行い連絡いたします。

- 7) 跳馬の注意事項
 - ① 種目別選出権希望者は2回とします。（1回目を個人総合の得点とします）

- 5 「第74回全日本体操個人総合選手権」の順位決定方法
「第74回全日本体操個人総合選手権」は予選・決勝の合計得点とします。
「第74回全日本体操種目別選手権」は決勝の得点とします。

- 6 第75回全日本個人総合選手権への出場者について

男子

合計90名

①	「第74回全日本個人総合選手権」予選上位44名
②	第75回全日本個人総合選手権トライアウト（2021年3月開催予定）18名
③	男子ジュニア強化部推薦5名
④	協会推薦5名
⑤	ユニバーシアード枠18名 1.第53回全日本シニア体操競技選手権大会上位6チームに対して1枠 2.学連推薦枠12

※ 第75回全日本体操種目別選手権トライアウトへの出場はビデオ審査による

女子

合計84名

①	「第74回全日本個人総合選手権」予選上位48名
②	協会推薦12名（過去の実績及び第53回全日本シニア体操競技選手権、第74回全日本学生体操競技選手権、第74回全日本体操個人総合選手権トライアウトより個人総合得点53,000程度を基準として推薦。対象者がいなかった場合は①に繰り下げる）
③	第75回全日本個人総合トライアウトの結果（2021年2月開催予定）と第74回全日本体操個人総合選手権予選の得点を加えた上位12名 ※①②を除く
④	ユニバーシアード学連推薦枠12名

- 7 表彰
 - ① 本大会は上記5における順位決定方法により表彰します。
 - ② 男子個人総合優勝者に対して「天皇杯」を授与します。
 - ③ 男女個人総合優勝者に「JOC杯」及び「優勝杯」を授与します。
 - ④ 個人総合・種目別の、1～3位にはメダルと賞状、4～8位には賞状を授与します。
 - ⑤ 同点は同順位として表彰します。

- 8 運営に関する事項について
 - ① AD（Accreditation）カードについて

本協会へ役員、指導者または選手登録を完了した方のみADカードは発行されます。会場では必ず見える位置に着用をお願いします。

※各所属へのADカードの発行枚数と条件は、以下の通りといたします。

役 職	配布枚数
部 長：男女の選手が出場のチームでも1名分とします。2階観客席の指定エリアで観戦してください。	1
監 督：男女の選手が出場のチームの場合、合計で2名分発行します。会場練習時は競技エリアに入ることができます。競技中は選手団席で待機して下さい。	1
選 手：出場者数。	
コーチ：出場選手数分。	
トレーナー：男女の選手が出場のチームの場合、合計で2名分発行します。競技中は選手団席で待機して下さい。治療などを要する場合は競技エリア内に入ることができます。	1

② 大会保険ならびに大会期間中の怪我について

本協会の費用負担にて、参加選手に対して大会期間中スポーツ傷害保険をかけます。発生した傷害の補償についてはスポーツ傷害保険の範囲とします。競技中の疾病、負傷に対する応急処置は主催者側で行いますが、その他の責任は負いません。

※大会参加者は健康保険証を持参してください。

③ ドーピング検査について

本大会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会となります。出場者は大会参加申込が完了した時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続きの対象となることに同意したものとみなします。また、18歳未満（大会時）である場合は、ドーピング検査を含むドーピング・コントロール手続きに対する親権者からの同意書を大会参加時に提出する必要があります。

本大会出場者は、本大会において実施されるドーピング検査（尿・血液等検体の種類を問わず）を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性があります。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるのでご留意下さい。

- 血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技終了後2時間の安静が必要となりますのでご留意ください。

日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、（公財）日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト (<http://www.playtruejapan.org>) で確認して下さい。また本大会はTUE事前申請が必要となる競技会として指定されております。TUE事前申請についてはJADAウェブサイト <http://www.realchampion.jp/process/tue> で確認して下さい。

ドーピング・コントロールに関する同意書につきましては、18歳未満（大会時）の出場者は、JADAウェブサイト (<http://www.playtruejapan.org>) トップページ右上の「特設サイト/18歳未満の競技者への検査について」のページをご確認いただき、ドーピング・コントロールに関する同意書を、ダウンロードの上、必要事項を記載して郵送にて提出をお願いします。また、2015年4月以降に開催された本会主催の競技会（国民体育大会を除く）において提出していただいた同意書が、満18歳となるまで有効となります。すでに有効な同意書を提出済みの方で、内容に変更の必要がない方は、本大会においては再度の提出の必要はありません。

④ 炭酸マグネシウムについて

各所属で持参した炭酸マグネシウムを使用してください。

- ⑤ Fujitsu社の採点支援システムデータ収集を女子段違い平行棒・平均台、男子あん馬・つり輪・鉄棒で行います。また、これにともなう選手形態測定を行います。別途案内いたしますので協力よろしくお願いいたします。

⑥ 演技写真撮影およびSNSによる広報活動について

本大会は記録のため写真および映像を撮影します。本協会が定める競技者規程第8条に従い、各選手の肖像利用に関しては大会参加申込みにより了解を得たものとします。また、出場選手の記録のため、本協会指定の写真販売業者が撮影した画像を出場選手とその関係者に限定して販売を行います。また、大会期間中、総務委員会へこの事業への不参加を申し出て、関係者を含め、一切の自身の演技写真掲載や利用を禁止することができます。

所属あるいは選手自身の記録のための撮影を希望する方は、大会参加申込み時に申し「撮影許可証」を取得してください。「撮影許可証」は1所属（男女別）につき3枚を上限として発行します。撮影の際は「撮影許可証」を必ず身につけて撮影してください。

競技普及や体操への人気拡大を目的として、本協会が定めるソーシャルメディア運用管理規程にもとづく画像、映像の撮影やインタビューを依頼することがあります。撮影した画像、映像は協会ソーシャルメディア（公式HP、Twitter、Facebook、Instagram）に掲載致します。ご協力をお願いいたします。また、大会期間中、広報委員会へこの事業への不参加を申し出て、関係者を含め、一切の自身の演技写真掲載や利用を禁止することができます。

⑦ 「ネット・動画を活用したスポーツ団体の収益化プラン策定に向けてのトライアル」を実施する予定です。中継放送局およびその他の権利関係について調整を行います。

⑧ 所属の車両乗り入れについて

本大会は出場選手の輸送などを目的とした各所属の車両の乗り入れはできません。体育館地下の有料駐車場を利用するか、城南立休駐車場（無料、夜間留置可・アリーナHPで案内）をご利用ください。

9 参加申し込み

期 日 2020年11月16日（月）～11月24日（水）

申込方法

大会申込は<http://jga-web.jp/>にて行います。なお、参加申込終了後に棄権した場合でも参加料の返金は致しませんのでご了承ください。

参加料

1選手につき10,000円（男子種目別トライアウト申告からの出場者は8,000円とします）

※JASRAC（日本音楽著作権協会）負担金 女子選手のみ1名につき500円

同意書

18歳未満（大会時）の出場者は、JADAウェブサイト(<http://www.playtruejapan.org>)トップページ右上の「特設サイト/18歳未満の競技者への検査について」のページをご確認いただき、ドーピング・コントロールに関する同意書を、ダウンロードの上、必要事項を記載して郵送にて提出をお願いします。

連絡先

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 8階

（公財）日本体操協会 TEL 03-6455-4037 FAX 03-6455-4038

「第74回全日本体操個人総合選手権 参加申込」係

10 その他

① 班編成の公開抽選会について

日時；2020年11月26日（木）

会場；（公財）日本体操協会 事務局

② 競技時程・会議時程等は、参加者及び関係者に追って連絡することとします。

③ 上記、出場資格以外の記載内容については、若干変更される場合があります。

④ 本大会はJGA体操イベント実施に向けた感染拡大予防ガイドラインに基づき、感染症対策を行います。